

議 会 広 報 特 別 委 員 会

日 時	令和 6年 3月 4日 (月) 開会中	10時40分 開会 11時25分 閉会
場 所	相良庁舎 4 階 第 3 会議室	
出席議員	(委員長) 8番 種茂和男 (副委員長) 3番 絹村智昭	
	7番 松下定弘	6番 木村正利
	2番 谷口恵世	1番 石山和生
欠席議員		
法第105条出席		
事務局	書記 本杉周平 書記 中田 綾	
説明員		

署名 _____ 議会広報特別委員長

〔午前 10時40分 開会〕

開会の宣告

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

時間ちょっと早いですが、皆さんおそろいですから、始めたいと思います。

2 事件 （1） 牧之原市議会だより「かけはし」第74号について

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

事務局のほうから、説明をお願いします。

○事務局書記（中田 綾君）

それでは、まず、編集スケジュール（第74号）という資料をご覧ください。

今回の第74号を発行していただくまでのスケジュールの案になります。上のほうからご説明をさせていただきます。

まず、本日3月4日、月曜日、本会議の終了後、第1回の議会広報特別委員会を開かせていただいております。本日の委員会で編集スケジュールの決定、またページ構成の検討まで行いたいと思います。

下のほうに参りまして、今週の8日、金曜日、一般質問の2日目に各議員さんのほうへ原稿の依頼を事務局からさせていただきたいと思います。

すみません、ページが右になりまして、3月22日、本会議の最終日になりますけれども、こちらの本会議の終了後に、第2回議会広報特別委員会ということで、ページ構成の決定までこちらの委員会のほうでさせていただきたいと思います。同時に、この日は総括的な質疑と通告質疑の原稿の提出期限とさせていただきたいと思います。

下のほうに行きまして、3月25日、月曜日を全ての原稿の提出期限とさせていただきたいと思います。

次のページになります。

4月3日、水曜日に、午前9時から第3回議会広報特別委員会ということで、こちらはワード原稿の編集の委員会を開催させていただきたいと思います。

こちら4月のカレンダーに赤字で書かせていただいておりますけれども、4月から契約が切り替わりますので、そちらの契約の事務のほうを赤字で書かせていただいております。

4月19日、金曜日、こちら午前9時から、第4回議会広報特別委員会を開催させていただきたいと思います。こちらの内容は、ゲラ刷りの原稿の第1回目の確認と、修正を行ったワード原稿の編集のほうをお願いしたいと考えております。

一番下の30日、火曜日の、また午前9時から最終の第5回議会広報特別委員会ということで、こちらゲラ刷り原稿の2回目と最終的なワード原稿の確認を行っていただきたいと考えておりま

す。

右のページに行きまして、5月8日、水曜日に、最終的な正副委員長との確認をお願いしたいと考えております。

少しスケジュール内容の補足になるんですけれども、前回、ゲラ刷りの原稿を1回減らさせていただいてご対応いただいたかと思うんですけれども、それが契約書の内容に沿わせるために、ゲラ刷り原稿を1回、校正回数を減らして行っていたんですけれども、やはり事務局の編集作業的にも、印刷所さんの校正のスケジュール上でも、短期間に多くの修正が発生してしまって、かなりスケジュールが厳しかったというところがありましたので、今回の第74号の発行から、またゲラ刷りの原稿をもう一回増やして、前々回の委員会までと同様の流れでゲラ刷りの原稿を2回チェックしていただくというような回数でやらせていただきたいと思います。

スケジュールについての説明は以上になります。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

ありがとうございました。

ページ割について、事務局のほうから説明をお願いします。

○事務局書記（中田 綾君）

それでは、ページ割り（第74号）という資料をご覧ください。

一番右側の列が今回の第74号のページ構成の案となっております。

左側にあります4列は、過去発行させていただいた最新のもの4号の掲載内容の比較となっております。

今回の第74号のページ構成案になります。上から順に説明させていただきます。

まず表紙が、今回は勝間田保育園に依頼する予定となっております。

2ページ、3ページ目に、この後行われます当初予算の連合審査の内容、質疑等を掲載する予定です。

次の4ページ、5ページについては見開きで、今回の2月定例会で出た通告質疑や総括質疑、討論等の内容を掲載させていただく予定です。

6ページに、今回、文教厚生委員会に附託されました請願のほうが出ておりますので、そちらの審査の内容や質疑の内容等をこちらで1ページで掲載させていただきたいと考えております。

7ページが、こちらはこの後行われます補正予算連合審査会の審査の内容や質疑を1ページで掲載させていただく予定です。

8ページが、議案の一覧になります。

9ページから19ページまでが、今回11名の議員さんが一般質問を提出しておられますので、11ページ、議員さんの一般質問のページを確保させていただいております。

最後になりまして、裏表紙のほうは特集記事が半分と、編集後記は絹村副委員長のほうにお願いしたいと考えております。

ページ構成についてなんですけれども、比較表を見ていただくとお分かりになると思うんです

けれども、1年前の同じ2月定例会の号では、当初予算連合審査のページを4ページ、ですので見開きで2ページ確保しておりまして、例年、毎年4ページ程度確保していたところがあるんですけれども、今回ちょっと請願の審査があったりですとか、定例会での通告質疑や総括質疑が多く出た関係と、一般質問の議員さんのほうも少し昨年より多く出ている関係で、当初予算連合審査の内容を今回は2ページとさせていただいております。

補足については以上になります。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

今、説明がありましたように、連合審査の件、前回4ページでやっていたものを2ページにしたいと思いますが、その案で皆さんのご意見はありますか。よろしければこの形で進めますけど。

石山委員。

○（石山和生君）

前回のものを一回見てみないと、すぐに判断がつかないなと思ったので、1分から2分の時間を、大丈夫ですか。

過去のは入っていますよね。

令和5年4月27日のものを見れば分かりますかね。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

どうぞ。

○（木村正利君）

ちなみに今、相良こども園とか表紙がずっと回っているんですけど、これはいつまでになるんですか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

事務局。

○事務局書記（中田 綾君）

幼稚園、保育園に、依頼させていただいている表紙なんですけれども、第76号まで幼稚園、保育園のほうに依頼をさせていただいておりますので、第77号以降については、また委員会のほうで表紙の内容は検討していただければと思っております。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

この件に関しても、早めに依頼するなら早めに決めて依頼しないと、表紙の写真。次回ぐらいまでに決めておかないといけないのかなと。第76号までであるというけど、その後、第77号は早めに、何をするか決めないとならない。

事務局。

○事務局書記（中田 綾君）

早めに決めていただいたほうがいいかなと思いますので、次の第75号発行の編集の委員会のほうで、表紙の協議のほうに入っていただければと思います。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

そのぐらいに、第75号ぐらい前のとき。

そういうことを頭にちょっと入れておいてください。どういった写真がいいのかどうか。

○（木村正利君）

第75号の編集のお話なんですけど、この前、せっかく研修をやって評価されたじゃないですか。うちの。だから、それはやった以上は、僕は変えていく方針でやらなきゃならないかな、ラストかなと思っている中で、その辺の打合せを、どこかのタイミングで入れておいたほうがいい、委員長がおっしゃるとおり、第77号から表紙から変えるんだったら、そこら辺のイメージも委員会として取り入れていかないと、結局この前の講習が活きていかないんじゃないかなと思うんですが、いかがでしょうか、事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

今、木村委員からお話でしたが、せっかく受けていただいたものですから、リニューアルしたほうがいいなと思うところは、リニューアルしていただいていいかなというふうに思いますが、基本的には委員会の中で決めていただく形になるかなと思いますので、またその辺は、どういったスケジュールでやっていくのかということも含めて、また協議いただければいいかなというふうに思います。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

石山委員。

○（石山和生君）

ページが決まっている以上、仕方ないんですが、この予算の審査が物すごく、議会の活動において大事だと思っているので、さっき見てると、2ページにすると相当内容は少なくなってしまうものの、かといって、ほかのページどうするのという話だと思うので、難しいなとは。

請願審査って1ページ、どんな感じなんでしたっけ。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

事務局。

○事務局書記（中田 綾君）

請願審査なんですけれども、過去の請願審査を見ますと1ページ確保して、請願の概要、要旨ですとか、あと委員さんからの質疑等を1ページ使って掲載していた関係で、今回も1ページとさせていただいていたんですけれども、直近のものと、委員会のほうのデータに、第68号の令和4年9月定例会号に請願の審査のページがあるんですけれども、6ページ目になります。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

どうですか、いいですか。

石山委員。

○（石山和生君）

請願は1ページ必要な気がするので、そうなってくると仕方ないのかな。できれば、せめて3

ページと思いましたが、それでも1ページ削るところがないので、仕方ないかなと。

ただ、前回も附帯決議みたいに出ていますけど、附帯決議みたいなものが出たら、スペースが本当にないという状態ではあるので。

契約上たしかページがもう決まっていて変えられないんですよね、たしか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

事務局。

○事務局書記（中田 綾君）

第74号以降の契約につきましては、まだ契約の事務をこれから行う関係もありますので、ページ数を増やすこと自体は可能かなというところであります。

予算上も、少し多く取っている関係というか、24ページにも対応できるように予算は確保はしてございます。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

石山委員。

○（石山和生君）

そうすると、予算って本当に議会の中で結構大事な、本当に大事なポイントだと思っているので、毎年4ページで、見た感じすかすかというわけでもないのに、予算を増やしてでもやったほうがいいんじゃないかなとは、個人的には思いましたが、皆さんはどうでしょうか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

どうでしょうか。今、石山委員のほうから、4ページにしたほうがいいというご意見もありましたが、皆さんのほうは、2ページでもいいのか、4ページにしたほうがやっぱり予算連合審査的にはいいのか。どうですか。

○（絹村智昭君）

それこそ24ページにしたときの構成的なものでうまく埋められれば、別に自由でもいいのかなと思うんですけど、そこら辺どうですかね。事務局から見て。

○（石山和生君）

事務局じゃなくて自分たちが見て。

○（絹村智昭君）

構成の部分で埋められるか、埋められないかのところで。

○事務局書記（本杉周平君）

今、中田のほうからご説明もしましたし、石山委員のほうからお話もございましたが、74号からは次年度からの契約になりますので、先ほどのスケジュールで言うところの4月頭ぐらいに、契約のほうをしていく形になります。今、年間4号発行していますが、一応全部20ページということで仕様も組んで入札をしていますので、もし例えば第74号だけでも24ページにしたいということであれば、74号だけでも24ページ、ほかは20ページということで仕様を組んで入札をするということも、できるはできますので、あとは恐らく4ページ増やす形になるかなというふうに思

うので、なので、そうすると例えば2ページは当初予算連合審査会合のほうに充てるということで結構だとは思いますが、あと2ページ何か載せる記事をとという形に今後なってくるかなというふうに思います。

以上です。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

2ページプラスになる記事をどういうふうにするのかということ。

事務局。

○事務局書記（中田 綾君）

2月定例会の報告のページのほうなんですけれども、通告が4件、今日出ていましたとおり、多分恐らくなんですけれども、通告の4件だけで1ページ埋まってしまうような形に、今までの構成ですとなっていて、そこにプラス初日で総括質疑が3名の議員さんから出ていまして、今までの委員会の流れでいきますと、総括質疑を全て掲載していたという経緯がありますので、今回も3名の議員さんの総括質疑を載せていくとなりますと、1ページで収めるのが難しいかなというところがあります。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

ページを埋めるにかなりきついということ。増えてしまうと大変になる。

○事務局書記（中田 綾君）

定例会のページを今2ページ確保させていただいているところを、1ページにというところが、ちょっと質疑が今回多かった関係で難しいかなと。

○（谷口恵世君）

通告は絶対載せない駄目なんですか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

事務局。

○事務局書記（中田 綾君）

今までの広報では、ずっと通告は全て掲載をしております。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

どうですか。

予算的には、最終的には出る。印刷のほうも、4ページ増えるには、ページつけ合わせは同じようにできるので、台数が増えるんじゃなくて、紙代が増えるだけで、製版料金が少し。それで、今回だけに限ってなら、何とか事務局のほうでも予算的には、まだ4ページ増えても対応できるようなあれですけど、記事的な部分で、増えた2ページを何でどういうふうに埋めるかということがね。

2ページを増やすということは、4ページを増やさないといけない。

○（石山和生君）

なので、もしその方向でいいんだったら、残りの空いたところをどう埋めましょうかという話

に移れると思うんですけど、そもそも予算がかかるしという話であれば、その議論は。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

一時的に24ページでやるなら、今回限りで、次の見積を取るときは、来年度は20ページのできるので、瞬発的なページだけになるよね。今回だけの。見積を取るときは、また20ページで取るわけでしょう。

○事務局書記（中田 綾君）

契約自体はそれこそ4月頭から3月の終わりまでの1年間の契約になるんですけども、仕様書の内容を、第74号だけページ数を24にして、あとは6月、9月、11月は20ページというふうにすることも可能です。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

そういう形態で、今回第74号についてはあと2ページを、どういった記事で埋めていくかというのを提案していかないと、できないよということなんです。

4ページ増やすという方向で考えますか。どうですか。それが大変だから、従来の20ページでいいとするのか、予算のほうの方が大事だというご意見もありますので。

要するに2ページ。単発では刷れないので、1枚では刷れないので。なので、半裁で8ページつく形になるので。A判の。

○事務局書記（本杉周平君）

恐らく、今多分ちょうど20ページなので、4掛ける5で切っているので、2ページというと、間に1枚入ってしまう形になるので、それでもしよければそれでもいいんですが、4ページ増やした方が見栄えというか、製本上はそのほうがいいかなというところですかね。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

今、この16ページのA全1台と、4分の半裁の4ページになる。次、今皆さんが言う4ページ増やすということは、このA判の半分の8ページを増やさないと、印刷上、効率が非常に悪くなるし、製本段階で機械にかけにくくなるので。業界では。

基本的には、2ページ増やして、あと2ページの記事を皆さんで考えて埋めるのを、事務局のほうで考えがあるなら2ページ増やす方法というのは可能ですか。何かほかに。

○（谷口恵世君）

予算4ページなので、質疑が多ければ5ページに増やすのはどうですか。そうすれば、あとフリーは1ページになるから、それをどうするかという話。

○（石山和生君）

今、谷口委員が言ったように、予算連合審査をプラス1ページで、定例会報告、2月は通告質疑も多かったり、総括質疑も多かったからそれは3ページ。そうすると奇数になってしまっても大変。片ペラになってしまうけど、そういう手もある。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

そういうふうに、今いった考えを。

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

では、委員会の方針とすると4ページ増やすということで、取りあえずはよろしいですか。

この次、22日に、最終日にまた委員会を開いていただく形になると思いますが、その次の日、その次の次の日ぐらいには、来年度の契約に関して、手続上、書類を作成しないといけないものですから、最悪22日にどうするかという決定さえいただければいいんですが、取りあえず今の段階では4ページ増やすということで、こちらのほうは対応させていただきますので。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

あと、事務局のほうで次の議事進行を。

○事務局書記（中田 綾君）

今、この段階でご都合が悪い方がいらっしゃいましたら、言っていただければ、委員会をこれ以上後ろに延ばすことは難しいかなと思うんですけども、1日前にしたりとか、午前を午後にしたりとかというところは可能な限り対応させていただきたいと思います。

○（松下定弘君）

3日が予定があったので、前後できればと思ったんですけど。4月3日。

○事務局書記（中田 綾君）

松下委員の4月3日、水曜日の第3回がご都合がというところでよろしいですかね。

スケジュール的には、その前の日の4月2日、火曜日あたりでも開催は可能なんですけれども、委員の皆様のご都合がよろしければ可能ですし。

○（松下定弘君）

じゃあ予定どおりでいいです。

○事務局書記（中田 綾君）

後ろのほうですね。5日でも、議運が9時から入っているんですけども。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

5日は相良中学校の入学式があるので。

○（松下定弘君）

5日ね。だから午後にする。

○（谷口恵世君）

4日する。

○（松下定弘君）

4日にすると言ったよね。

5日の午後。

○（石山和生君）

5日の午後というのが、今出ています。

○事務局書記（本杉周平君）

もし3日のほうがということでありましたら、例えば案とすると、4月2日のどこか、4日が駄目な方がいらっしゃったので、5日の午後。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

4日が駄目ですか。

○（木村正利君）

大丈夫。午後が駄目。

○事務局書記（本杉周平君）

よろしいですか。

ただ、4日は資格審査委員会にうちの職員が、例えば発行業務はこういう案件でやりますという委員会に出ないといけないものですから、うちの職員が多分対応できない形になると思います。事務局が出られなくなります。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

とにかく3日はやらないということ。

○事務局書記（本杉周平君）

ご都合によります。

もし、松下委員の予定を皆さんで考慮するのであれば、例えば2日とか、それか5日の午後が直近だったらどうかというところなので。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

4日も駄目なの。

○（松下定弘君）

4日は大丈夫です。

○事務局書記（本杉周平君）

4日の午前中は事務局が出られないので。なので、その辺。

3日でよろしいですか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

分かりました。3日でいいんですね。

よろしいですね。では、そういうことで。

あとほかには。あと、最終ページの。

事務局。

○事務局書記（中田 綾君）

スケジュールに関しましては、資料に出させていただいたとおりということで、予定をさせていただきます。ページ割りに関しましては、4ページ増やす方向で、案としましては、当初予算を例年どおり4ページ確保して、あと残りの2ページは特集という形でつくらせていただきますけれども、委員さんのほうでもう少し予算の審査のページを増やしたりですとか、定例会のページを増やしたりというところは、また委員会の中でご検討いただければと思います。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

石山委員。

○（石山和生君）

増やすのはそんなに大変ではないですか。さっき言った。特集のイベントが仮にないなみたいになったときに、予算を増やせばいいじゃんとちょっと思ったりはするけど、それが大変なことなのであれば、それも考慮しなきゃいけないと思っているんですけど、増やすだけなので大変じゃないですよという話なのか、ちょっと構成とか変わって、若干手はかかるかなみたいな、そこら辺の感覚を聞きたいです。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

ありがとうございます。4ページ増やすと仮定して、2ページは恐らく当初予算のところを増やすと思うので、残り2ページのお話かなというふうに思いますが、特段例えば、先ほどの案にも挙がっていましたが、補正予算のページを1ページ増やしたらいいんじゃないかとか、そういう意見もありましたので、そういうことでいくのであれば、逆に皆さんが執筆していただく記事が増えるということ。

そうじゃなくて、全く新たな特集ページを何か組むよということであれば、それも少し案をいただければと思いますが、特段何か4ページのうち2ページが今未定だよということで、何かこちらがすごくということは大丈夫かなというふうには、今のところは思っています。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

石山委員。

○（石山和生君）

それはまた次回の話。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

ある程度考えは持っていないと、増やす内容の。

最終ページは、特記事項の件に関しては。掲載内容。

事務局。

○事務局書記（中田 綾君）

20ページの半分の特集記事の部分と、先ほど4ページを増やすということでしたので、そちらで増やしたページにつくる特集記事の案につきましては、次回の委員会までに少し案を考えてきていただければと思います。

以上です。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

それと、また視察研修に関して、ここでのいろんな議題が出ておりますので、皆さんのほうからもしご意見を聞きたいと思いますが、前回木村委員のほうから出ていましたエイベックスさんの

ほかに、前回行こうとして、いろいろ時期尚早だということで受け入れられなかったところで選ぶのか、ここで視察研修先を、1泊2日で視察日程のほうをある程度決めていきたいと思いますので、ちょっと事務局のほうで。

○事務局書記（中田 綾君）

それでは、前回の第73号の編集の委員会の際に、視察研修を5月頃に実施したいというようなお話があったかと思うんですけれども、その際に、エイベックスさんのほうを木村委員からご提案いただいて、前回の委員会の最後に、視察を実施する際はそちらは継続して視察先として決定というようなご意見があったかなと思いますので、まず5月に視察研修を実施するといったところでよろしいでしょうか。

木村委員からご提案いただいたエイベックスさんについても、引き続き継続して決定ということで、よろしかったでしょうか。

それでは、視察日程の候補日についてご説明をさせていただきたいと思いますので、資料の、視察日程候補日という資料をご覧ください。

今、その資料の中の赤い線で囲わせていただいたところが、広報の委員の皆様の方の会議等の予定がないところになります。さらに赤枠の中で赤字で視察候補日と書かせていただいてオレンジで網かけをしている部分があるかと思うんですけれども、エイベックスさんは決定ということでよろしいかと思うんですけれども、そのほかに自治体さん等を視察に行かれるということであれば、多くの自治体さんのうちと同じように6月定例会をやられているところが多いかなと思います。人気のあるような自治体さんですと、6月定例会の初日から一、二週間前から視察の受入れを停止しているというようなところも多くあると思いますので、5月9日、10日あたりですと、視察先が決定してから日が短いかなというところがありますので、オレンジで網かけした五日間あたりが現実的な視察日程の候補日になってくるかなというところがございます。

以上です。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

今、事務局のほうから説明がありました。視察日程のほうですけど、オレンジのついたところが各行政の方も受け入れやすい日程になっておりますので、例えば15日、16日とか、20日、21日、22日と、その3ぐらいになると思うんですけど、日程的には皆さんのほう、どの日がよろしいでしょうか。

松下委員からご意見を。

○（松下定弘君）

予定は大丈夫なので、合わせます。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

両方ともオーケー。

谷口委員のほうは。

○（谷口恵世君）

私は今、自分の日程を確認できないのであれですけど、15日16日か、20日21日がいいんじゃないかなと思います。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

石山委員のほうは。

○（石山和生君）

僕は行きたい場所の受入先の日程がつくほうでいいんじゃないかと思ってます。僕はどこでも大丈夫です。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

日にちはどこでもいいということで。

木村委員。

○（木村正利君）

私のほうも、15日、16日、20日、21日も、この赤い候補日だったらいいです。

ちなみに、これからエイベックスもそうなんですけど、実はもう一社、B I P R O G Yという、日本ユニシスという、結構D Xとかやっている会社なんですね。この前参考になるかなと思ったのは、前市長の西原さんがやりましたオリーブの関係のプロデューサーをやっていたところが、B I P R O G Yという会社ですから、これ今関係でいろいろ話をしているので、ここの東京のほうも、視察候補地としてこれから検討できるんじゃないかなと。B I P R O G Yという会社です。

これも地方創生とか、いろいろなものを行政とやりながら、民間企業という形でやっていますので、提案の仕方等、参考になるのかなと思っていますので、民間企業としてはこの2社を私のほうで調整できるかなと。一泊の中では。東京に会社がございますので。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

場所的にはどうなんだろう。エイベックとかなり離れている。

○（木村正利君）

都内だったら電車で行けば、全然候補地、まず行政側のところが取れば調整は取れますので、一泊でしたら大丈夫だと思います。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

あと、前回事務局のほうで動いてもらっていたところで、優秀なところが結構挙がっていたと思うんですけど、そこら辺で取れるところを1か所交えるような形で、あと日程的にはオレンジ枠で皆さんよろしいというものですから、相手方の受入れの日程がオーケーなところに合わせていくほかないかなと思いますけど。

事務局。

○事務局書記（中田 綾君）

それでは、皆さん赤字のところの日程であれば、よろしいでしょうか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

なので、あと、行政側のほうで前に挙げていただいたところで、受け入れてくれるところ。

○事務局書記（中田 綾君）

視察の候補地については、前回の委員会と同様に、まず委員の皆様からご提案をいただきたいと思いますので、今日は3月4日の月曜日になるんですけれども、エイベックスさんは一つ、前回からの継続で決定というところで、あと、自治体さんとそのほかの視察先につきましての提案を3月15日の金曜日の正午を締切にさせていただきたいと思いますので、前回と同様に視察先の自治体さん等の案がありましたら、事務局のほうに3月15日、正午までにご提出いただきたいと思いますと考えております。

3月22日が第2回の広報委員会になりますので、その委員会には視察先について決定をいただければというふうに思っております。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

委員のほうで、また皆さんのほうで、関東圏内で、ここのあれを聞いたほうがいいんじゃないかというところがあれば、優秀なところばかりでなく、我々と規模が同じぐらいのところでも結構ですので、ここには興味あるなとか、行ってみたいところがありましたら調べて、15日までには出すようにしてください。

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

ちなみにエイベックスは木村委員のほうで調整いただける形でよろしいですか。

なので、例えばエイベックスの都合もあると思うので、例えば逆にエイベックスさんに、もしよろしければこの15日、16日、20日、21日、22日ぐらいで、どこだったらいいかというのを、もしよろしければ確認していただいて、駄目な日で僕らが組んでしまってもあれですから、もしよければ。

○（木村正利君）

二日間になるので、一か所あれだったら、結構いろいろな新しい事業をやっているところで、聞くだけ、もう1社、皆さんがよければ。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

今、私がお話しさせていただいたのは、前回の委員会のときは、エイベックスさんはぜひ次もという話で、何となく委員会として行くような形かなと思っていたので、取り急ぎエイベックスさんのほうを、ご都合がもしよろしければ、お聞きいただければと思ってお話しさせていただいたので。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

そんなところですか。

3 その他

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

ほかに何か皆さんでお気づきになったことがありますでしょうか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

以上で終了したいと思います。ありがとうございました。

〔午前 11時25分 閉会〕